

広がり、∞。デジタル・サウンド・システムの世界。



DS-202-DS-310-DS-320

思いのままに、音をスケッチしてみたり。自分の世界を、緻密に構築してみたり。スタジオやマイルームで、大活躍。

ふと思いついたメロディーを、シーケンサーにインプット。ハーモニーを重ね、コードをつけて、曲として仕上げていく。楽しさは、1度味わったらやめられない世界です。また、アレンジしていて、「この部分にこんな音がほしいな」と思った時。シンセサイザーやサウンド・ミックス機能を使って、目と耳で確かめながら音づくり。イメージ通りのサウンドが得られるので、思った通りの表現が

できます。こうして作り出したサウンドは、メモリーして、もっと磨きをかけていきましょう。さらに、マルチ・トラック・レコーダーと接続して多重録音を始めれば、デジタル・サウンド・システム1台で、ほとんど完璧なサウンドを作り出すことも可能です。

ステージで映えるメタリックなデザイン。操作性、音質も、ライブ・パフォーマンスで強力なパワーを発揮。

デジタル・サウンド・システムのクリアーなデジタル音は、外部PAに接続する

ことで、さらに充実。迫力のあるライブ音が聴けます。1台で2台分の動きができるキー・スプリット機能も大活躍。2つの音色を一度に使えるので、プレイが表情豊かになります。シンセサイザーも、16音のポリフォニック(DS-202接続時)で演奏できるのも、十分に実力を発揮できます。さらに、シーケンサーにあらかじめメモリーしておいた演奏をライブ・プレイをのせて、音の厚みを増すなど、使い方はさまざま。多くのミュージシャンとのディスカッションの末生まれたデザインも、ステージの雰囲気最高に盛り上げてくれます。



MIDI規格によるコンピュータなどの接続が、さらに、大きく、深く世界をひろげます。

セイコー・デジタル・サウンド・システムは、専用のMIDI規格用インターフェイス・ボックス(別売)も用意しました。MIDI規格は、いままでいへん注目を浴びているデジタル機器接続の標準規格。キーボードを何台もつなげたり、コンピュータと接続したりできるので、将来的には、もっともっと高度なシステム・アップが予想されます。